

貸借対照表

(2020年3月31現在)

(単位：千円)

| 勘定科目 | 金額 | 勘定科目 | 金額 |
|-----------------|------------------|------------------|------------------|
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| 流動資産 | 1,902,803 | 流動負債 | 1,795,739 |
| 現金及び預金 | 1,123 | 買掛金 | 1,415,818 |
| 売掛金 | 512,052 | 未払金 | 148,051 |
| 商品及び製品 | 291,759 | 未払費用 | 39,971 |
| 仕掛品 | 253,896 | 未払消費税等 | 35,728 |
| 原材料及び貯蔵品 | 588,607 | 未払法人税等 | 5,835 |
| 前払費用 | 5,606 | 預り金 | 32,319 |
| 関係会社貸付金 | 246,774 | 賞与引当金 | 73,064 |
| 未収入金 | 2,476 | 製品保証引当金 | 44,950 |
| 立替金 | 446 | 固定負債 | 10,180 |
| 仮払金 | 60 | 退職給付引当金 | 10,180 |
| 固定資産 | 200,582 | 負債合計 | 1,805,919 |
| 有形固定資産 | 98,676 | (純資産の部) | |
| 建物 | 4,899 | 株主資本 | 297,466 |
| 機械及び装置 | 50,577 | 資本金 | 98,000 |
| 車両運搬具 | 0 | 資本剰余金 | 100,000 |
| 工具・器具・備品 | 38,298 | 資本準備金 | 100,000 |
| 建設仮勘定 | 4,900 | 利益剰余金 | 99,466 |
| 無形固定資産 | 1,146 | その他利益剰余金 | 99,466 |
| ソフトウェア | 1,146 | 繰越利益剰余金 | 99,466 |
| 投資その他の資産 | 100,759 | 純資産合計 | 297,466 |
| 繰延税金資産 | 100,453 | 負債及び純資産合計 | 2,103,385 |
| 差入保証金 | 20 | | |
| 敷金 | 274 | | |
| 長期預託金 | 11 | | |
| 資産合計 | 2,103,385 | | |

個別注記表

I. 重要な会計方針

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) たな卸資産

① 製品及び仕掛品：総平均法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

② 商品及び原材料：移動平均法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

③ 貯蔵品：最終仕入原価法による原価法

(貸借対照表価格は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法(ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く。)、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物は定額法)を採用しております。

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(2) 製品保証引当金

保証期間内に発生する無償修理に対する支出に備えるため、無償修理費の見積額を計上しております。

(3) 退職給付引当金

地域職種限定社員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき計上しております。

4. その他計算書類作成のための重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

(2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

II. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 株式の状況

当事業年度の末日における発行済株式の総数 1,960 株

(2) 配当に関する事項

当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項(3月)

| | |
|----------|------------|
| 株式の種類 | 普通株式 |
| 配当の原資 | 利益剰余金 |
| 配当金の総額 | 98,000 千円 |
| 1株当たり配当額 | 50,000 円 |
| 基準日 | 2019年3月31日 |
| 効力発生日 | 2020年3月17日 |